

(1) 事務局体制の確認

設問 (1) -1 :グループ事務局の体制 該当する項目を全て選択ください。

- グループ内に専任の担当者はいない
- グループ内に専任の担当者を配置している

設問 (1) -2 :事務局の申請に関する業務委託の確認 該当する項目を全て選択ください。

- グリーン化事業に係る業務は事務局内で行っている
- 外部の業者に部分的に業務委託をしている
- 外部の業者に全ての業務を委託している

業者名

- 事務局の同一担当者が複数のグループを担当している

設問 (1) -3 :グループのサポート体制 該当する項目を全て選択ください。(複数回答可)

- 基本的に施工事業者が全て行い、交付申請、実績報告等補助申請のみ対応
- 未経験工務店を把握しており、未経験工務店向けのサポートを行う体制になっている。
- 設計申請等のサポートが出来る体制になっている
- 施工に関するサポートが出来る体制になっている
- 維持管理に関するサポートが出来る体制になっている
- 地域型住宅の営業提案に関するサポートが出来る体制になっている
- 「こどもエコ活用タイプ」に合わせ「こどもエコ住まい事業」の申請サポートを行う。
- その他、グループ特有のサポート体制がある

内容 株)LIXILスマートパートナーズ社の太陽光発電設備（分離発注）サポート

設問 (1) -4 :グループ内の情報共有の方法 該当する項目を全て選択ください。(複数回答可)

- グループ内で事業説明会を実施する
- SNS等の情報共有ツールを使った情報公開・共有
- メール・メーリングリストを使った情報発信
- ホームページ等Webを使った情報共有・発信（会員専用ページなど）
- TEL・FAXを使った情報共有・発信
- その他

内容 オンラインセミナー（Zoom）を利用した情報提供・情報共有

設問 (1) -5 :所属施工事業者の廃業等があった際の対応について該当する項目を一つ選択ください。

- 指定ルールに基づいて積立を行っており廃業があった際の検査費用として活用し維持管理を引き継ぐ施工事業者を紹介する。
- グループ事務局で維持管理を引き継ぐ施工事業者を紹介
- グループ事務局にて維持管理を代行
- グループ事務局が住まい手と相談し住まい手の意向に合わせる
- 第三者機関に維持管理業務を任せるため問題なし
- グループ事務局として対応しない
- その他

内容

(2) 地域型住宅の仕様、品質に関する取組みについて

設問 (2) - 1 : 主要構造部（柱・梁・桁・土台）における地域材の推奨する割合で該当する項目を一つ選択ください。

- 1～35%
- 36～70%
- 71～99%
- 100%

設問 (2) - 2 : グループの住宅性能の向上や第三者による評価に関する取組について該当する項目を全て選択ください。（複数回答可）

- 住宅の性能の確保に関しては、すべて工務店に任せている
- 設計性能評価書を取得している
- 建設性能評価書を取得している
- 耐震等級3を取得している
- ゼロ・エネルギー住宅でも長期優良住宅の認定を取得している
- ZEHに取り組んでいる
- BELSに取り組んでいる
- 低炭素住宅の認定を取得している
- 構造等級の確保について信頼できる外部機関に依頼している

依頼先 吉田建築設計事務所

- その他

内容 HEAT20住宅水準「住宅システム認証」の取得申請

設問 (2) - 3 : 地域型住宅の生産体制に関する取組みについて該当する項目を全て選択ください。（複数回答可）

- 地域型住宅で使用する用材の寸法規格化
- 地域型住宅の施工に関する統一基準がある。（一部箇所も含む）
- 地域型住宅の信頼性確保に向けた検査ルールがある
- 地域型住宅の積算・見積りに関する統一したルールがある
- 使用する地域材の在庫把握の仕組み
- 指定（推奨）の建材・住宅設備機器等の活用による在庫情報の共有
- 地域型住宅としての信頼性を確保するためのグループ独自の証明書の発行
- 完成保証・地盤補償等の各種保険の添付（瑕疵担保責任保険は除く）
- その他

内容 グループ事務局として適宜、断熱施工時や竣工時に検査を行い施工品質の確保に取り組んでいる

(3) 地域型住宅の維持管理に関する取組みについて

設問 (3) - 1 : 住宅履歴情報の管理・活用について該当する項目を一つ選択ください。

- 住宅履歴情報は施主が保管管理を行う
- 住宅履歴情報は施工事業者で保管管理を行う（施工事業者任せ）
- 住宅履歴情報はグループ事務局で一括して保管管理を行う
- グループで指定する住宅履歴情報サービス機関で保管管理する
- その他

内容

設問 (3) - 2 : 維持管理の実施に関する取組みについて該当する項目を一つ選択ください。

- グループ共通の維持管理計画書に従って維持管理・点検を行う
- 各社個別の維持管理計画書に従って維持管理・点検を行う
- グループとして外部の機関と提携（契約）して維持管理を実施
- 維持管理の実施に関しては施工事業者任せ
- その他

内容

設問 (3) - 3 : グループ事務局で維持管理の対応について該当する項目を一つ選択ください。

- グループ事務局が施工事業者に連絡して維持管理・点検を行う
- 維持管理の実施に対してグループ事務局にて報告を受け管理する
- 維持管理の実施に関してグループ事務局では関与しない

(4) グループで実施する研修、サポート体制に関する取組みについて

設問 (4) - 1 : グループで実施、参加する研修会・講習会について該当する項目を全て選択ください。（複数回答可）

- 補助交付申請、実績報告等の補助事業に関連する説明会
- 「こどもエコ住まい事業」の内容、申請方法等についての説明会
- 地域型住宅の認定・評価書取得等の設計技術・知識に関する研修会
- 構造等級の確保に向けた研修会
- 地域型住宅に関連した施工技術・知識に関する研修会
- 地域型住宅の維持管理に関連した研修会
- 住宅性能評価・表示協会が開催する講習会への参加
- 住宅金融支援機構が開催する仕様書説明会への参加
- 改正省エネルギーに関連した研修会
- 顧客提案等の営業手法等に関する研修会
- 工務店経営に関連した研修会（人材育成・働き方改革・民法改正等）
- CCUS（建設キャリアアップシステム）に関連した研修会
- 事業者向け現場見学会
- その他

内容

工務店にショールームを活用したHEAT20G2グレードの温熱環境を体験して頂く研修会への参加

設問（4）-2 :グループ（事務局）の未経験工務店の割合を一つ選択ください。

- 未経験工務店は所属していない
- 未経験工務店の所属が1 / 3未満
- 未経験工務店が1 / 3以上
- 未経験工務店がどれだけ所属しているかわからない

設問（4）-3 :グループ（事務局）が実施する未経験工務店に対するサポート内容について該当する項目を全て選択ください。（複数回答可）

- 未経験工務店への優先サポートの実施
- 地域型住宅の補助活用マニュアル（手順書）の用意
- 「こどもエコ住まい事業」の内容、申請方法等についてのサポート
- 各種認定取得サービスの活用提案
- 施工管理・施工検査のサポート
- 営業支援（提案書作成・営業同行）
- 事務局による交付申請書類作成支援
- 事務局による実績報告書類作成支援
- 特にサポートは行っていない
- その他

内容 ZEH活用に向けての太陽光発電設備の提案支援（購入、リース、PPA等）

(5) 地域型住宅の地域社会との連携や継承についての確認

設問（5）-1 :地域社会との連携・継承等について該当する項目を全て選択ください。（複数回答可）

- 地域の伝統的なデザインの継承を意識している
- 地域の街並みの継承を意識して対応する
- 地域の住まい方の継承を意識して対応する
- 地域型住宅に和の住まいの要素を取り入れた対応を行う

(6) 災害発生時・発生後の対応に対する取組みについて

選択 災害発生時・発生後の対応について

- 特に取り決めしていることは無い
- 取組みを行っている

内容 太陽光設置を推奨しており、非常時に電力を確保し、自立生活の継続を目指しています。

※ 災害発生時の国土交通省よりの情報提供の受け取りについて

- 情報提供を受ける

グループの取組み等PRポイントについて

私達はグループの名前の通り、省コストに暮らせる家やゼロエネルギー住宅（ZEH）について日々研究しています。都心部の特徴として狭小地が多く、太陽光の積載量が少なくなってしまう傾向があります。そこで建物の性能を向上させる事で、家全体のエネルギーをミニマムにし、少量の太陽光でもZEHをクリアできる提案をしております。更に断熱性能を向上させたHEAT20（G2レベル）のゼロエネルギー住宅に住むことで、健康・快適・経済的に暮らすことができます。しかし、その認知度は低く、エンドユーザー様まで普及しておりません。「実際体験してみないと良さが分かりにくい」と

地域型住宅の性能・アピールポイントについて

夏期の日射取得を抑制する為に、ガラスはLow-Ewを標準採用し冷房負荷低減を務め、自然換気を促す為に、居室には二方向開口を推奨し中間期の空調負荷を低減する計画を提案しています。

路地風を考慮した通風計画や、導光手法による光や風の自然エネルギーを効率的に活用する「パッシブデザイン」を取り入れる事により、安定した換気・採光を取り入れる事で自然エネルギーによる外部負荷の低減を目指しております。南海トラフ地震による被害が懸念される地域が多い事を踏まえ、耐震等級3以上を推奨し、直下率による地震対策をご提案させていただきます。直下率とは熊本での震災後、専門家による調査の結果、住宅崩壊の要因の一つとして考えられており、当グループでは直

地域型住宅における地域材の活用について

主要構造材（柱・梁・桁・土台）の60%以上で、産地証明のある地場産材または合法木材を使用します。産地証明のある地場産材は「仕様する地域材に関する事項」に記載されたものとし、全棟地域材の強度にあった梁成敬計算またはスパン表によるチェックを行い、安全性を確保するものとします。

引き渡し後の維持管理について

住宅は引き渡された後、定期的にメンテナンスを行う事により、長く快適に暮らす事が出来ます。当グループでは共通の「いえかるて」を作成し、お施主様・地域工務店・グループ事務局の三者で情報を共有しております。適切な時期でのリフォームメンテナンスを行う事で維持管理費用を削減する事が可能となり、お施主様の要望によっては第三者機関でのデータ管理を行い、長期に渡るサポートを行います。

消費者相談窓口の有・無と消費者に対する対応内容

- 消費者相談窓口がある

ホームページに相談窓口の掲載を行い、グリーン化事業グループ担当者が常時対応を行います。

受付番号 553

<様式5>

グループ名称 省コスト住宅・ゼロエネルギー住宅研究会(京阪神支部)

令和5年度のZEH等の申請

行わない

(1) BELS認証による評価について ※原則、BELS認証による評価となります。

設問(1)-1 グループとして展開する地域(ZEH等の供給予定地)を以下から全て選択してください。(1つ以上選択必須)

- 1地域
- 2地域
- 3地域
- 4地域
- 5地域
- 6地域
- 7地域
- 8地域

設問(1)-2 NearlyZEHでの申請を行うか、行わないか、選択してください。

- 行う ※建設(予定)地が「地域区分:1・2地域」、「日射地域区分:A1、A2」、「多雪地域」の何れかに該当すること
- 行わない

設問(1)-3 ZEH Orientedでの申請を行うか、行わないか、選択してください。

- 行う ※建設(予定)地が「多雪地域」、「都市部狭小地」の何れかに該当すること
- 行わない

設問(1)-4 ZEH等の事業形態を選択してください。

- 請負
- 売買

設問(1)-5 ZEH等の取組みについて

A:グループとしてZEH等の供給に積極的ですか。

- はい
- いいえ
- どちらとも言えない

B:ZEH等の省エネ性能について、グループで供給する数値目標は設定していますか。

- はい
- いいえ (ZEH等の要件に適應する住宅を供給する)

C:設問Bで「はい」と選択した場合、設定されている数値目標を記入してください。(設問Bで「いいえ」を選択した場合、設問Dへ)

外皮平均熱貫流率 [w/(m²·k)] (UA値)

0.5

- この項目の設定はなし

全体のエネルギー削減率(%) (R値)

120

- この項目の設定はなし

太陽光を除くエネルギー削減率(%) (R0値)

25

- この項目の設定はなし

D: 交付申請における外皮計算(UA値の算出)は、どのような方法で行いますか。

- グループ事務局が実施
- 申請事業者(施工事業者)が実施
- 外注(外部事業者)が実施
 (グループで特定の外注先がある場合は記入してください)
- その他

E: 交付申請における一次エネルギー消費量計算(R値、R0値の算出)は、どのような方法で行いますか。

- グループ事務局が実施
- 申請事業者(施工事業者)が実施
- 外注(外部事業者)が実施
 (グループで特定の外注先がある場合は記入してください)
- その他

F: 交付申請におけるBELS申請書作成、および、申請等は、どのような方法で行いますか。

- グループ事務局が実施
- 申請事業者(施工事業者)が実施
- 外注(外部事業者)が実施
 (グループで特定の外注先がある場合は記入してください)
- その他

G: 交付申請におけるZEH等の耐震要件の確認(構造計算、壁量計算等)は、どのような方法で行いますか。

- グループ事務局が実施
- 申請事業者(施工事業者)が実施
- 外注(外部事業者)が実施
 (グループで特定の外注先がある場合は記入してください)
- その他

※グループでの「モデルプランによる性能の試算」を行い、設問(1)～7以降について回答してください。

*グループでの「モデルプランによる性能の試算」とは、任意の住宅をモデルプランとして想定し、グループの基準や目安になるZHE等の仕様を用いて試算すること

設問(1)～7 モデルプランによるZEH等の性能の試算はどのような方法で行いましたか。

- グループ事務局が実施
- 申請事業者(施工事業者)が実施
- 外注(外部事業者)が実施
 (グループで特定の外注先がある場合は記入してください)
- その他

設問(1)～8 モデルプラン試算結果を記入してください。(必ずモデルプラン試算結果を1つ以上記入してください)

No	想定する地域区分(1～8)	外皮平均熱貫流率(UA値)	エネルギー削減率		主な省エネルギー手法					既定の評価に含まれないもの(記述)
			全体 R(%)	太陽光発電を除く R0(%)	太陽光発電	太陽光発電容量(kW)	太陽熱利用給湯設備	空気集熱式太陽熱利用システム	コージェネレーション	
1	4	0.46	122	27	■	6				
2	4	0.34	125	30	■	6				
3	5	0.46	147	28	■	6				
4	5	0.34	150	31	■	6				
5	6	0.56	149	25	■	6				

設問(1)－9 NearlyZEHの試算結果を記入してください。(必ずモデルプラン試算結果を1つ以上記入してください)

設問(1)－2 NearlyZEHの申請を行うとした場合は記入必須

No	想定する 地域区分 (1～8)	外皮平均 熱貫流率 (UA値)	エネルギー削減率		主な省エネルギー手法					既定の評価に含ま れないもの(記述)
			全体 R(%)	太陽光発電を除く R0(%)	太陽光発電	太陽光発電 容量 (kW)	太陽熱利用給湯設 備	空気集熱式太陽熱 利用システム	コージェネレーション	
1										
2										
3										
4										
5										

(2) 評価委員会による評価について

評価委員会による評価とはWEBプログラムで計算できない省エネ手法を個別に評価する方法です。

BELS評価書を取得して交付申請を行う場合は「BELS認証による評価」となります。

(グループで評価委員会の申請を行う場合は、下記口にチェックを入れてください)

グループとして評価委員会による評価の申請を行う

※評価委員会による評価を行う場合は、別途、申請の様式をゼロエネ評価事務局よりご案内いたします。

ゼロエネ評価事務局からのご案内をお待ちください。(zero@kkj.or.jp)